

## 平成29年度第3回宝塚市パブリック・コメント審議会議事録

1 開催日 平成29年10月16日(月) 10時07分～11時58分

2 開催場所 宝塚市役所3階 特別会議室

3 出席者 委員8名、事務局4名

4 議事

(1) 平成28年度に実施したパブリック・コメント手続の個別評価(案件No.6～12)について

○事務局 <開会>

出席者委員の報告。8名中7名の出席で、審議会は成立。会長は少し遅れて来られるので、その間の議事進行を会長代理にお願いします。傍聴希望者はなし。

○会長代理 本日は前回の続きで案件No.6～12について審議をする。

○事務局 前回宿題となっていた、パブリック・コメント実施後の計画等の策定状況を一覧にまとめた。今後の審議の参考にしていただきたい。

○会長代理 No.6「宝塚市手話言語条例(案)について」から個別評価を行う。

○委員 No.6から別紙意見提出用紙が一番後ろについている。今までは中ほどに入っていたが、これは別の意図があるのか。

○委員 一般の方に馴染みのない「インクルーシブ」という専門用語は、もう少しわかりやすい表現をした方が良いのではないかと。

○委員 私も「インクルーシブ」という言葉は、一般の方は日頃使わない。手話とは相容れないのではないかと。D評価をした。

○委員 意見に対して丁寧に対応している。反面、福祉関係者だけのものではないので、配布場所が偏り過ぎているのではないかと。また、視覚障害者への配慮はなされていないのではないかと。C評価とした。

○委員 評価「C」。意見に対しては丁寧に答えられている。

○会長代理 「インクルーシブ」を修正していないのは少し違和感をもった。評価はどうするか。「C」が良いかと。

○委員 全員一致で評価「C」

○会長代理 No.7「宝塚市障害者差別解消に関する条例(案)について」意見を頂戴する。

○委員 多くの意見をいただいているが、肯定的なものを「採用する」と

は書いていないが、「市障害者差別解消支援地域協議会で検討する」と具体的に書いているので納得はできる。

○委員 「障がいのある人への差別をなくそう」について、もう一捻りほしかった。市民の意見の1つ目と3つ目について、回答が「原案のとおり」となっている。工夫を今後するかしないかが明確ではない。

○委員 国の方で差別解消法に関する法律が3つできている。なぜ、これだけが市の条例として成立しているのか。他のものはなぜ、一緒に考えなかったのかという思いは少しある。

○委員 意見に対して丁寧に答える努力はしているが、回答をきちっと書く姿勢は見られない。本案件は障害のある人だけに案内をしても意味はない。他の案件にも言えるが、出し方に対して各課の創意工夫があればと思う。

○委員 障害があるが、障害者手帳を交付されていない人に対する理解ができるのかという気がした。

○会長代理 どこに広報したかということは気になった。解消法が制定されてからは、色々な事業所等に説明に行っているようだが、指定管理者等にも説明をすることは重要かと思われる。概要版は良くできているが、第5章罰則の「第14条第3項罰則に違反した者は」と表記があるものは、どのようなことが書かれているのか等、もう少しわかりやすく書いてある方がよい。

○委員 障害者手帳を交付されていない人に対する配慮の件だが、障害を持っている人自身が、自分を表現していかないと難しい現状であると思われる。すべての人を案に書くということは、範囲が広く、どの範囲までを載せるかなど別の問題が生じてくる。自分で発信していく力が必要にもなってくる。

○会長代理 評価は「B」で良いか。

○委員 甘いが評価「B」で。

○会長代理 また後で、総合に全体を調整する場があるので、「B」評価とします。

○会長代理 続いて No.8「宝塚市公契約に関する条例（案）について」事務局より説明をお願いします。

○事務局 No.8「宝塚市公契約に関する条例（案）について」非常に多くの意見をいただき、その意見も多岐に渡っているため、条例の制定に関しては、いただいた意見を参考に慎重に検討すべきと考え、議会に議案を提出する前に、一旦中止ということになった。その

ため、本案の結果公表については、いただいた意見のみ公表しており、あえて評価をしないことで、一覧表で空欄にしているところがある。実施担当課が入って、説明をさせていただいてよろしいでしょうか。

- 会長代理 お呼びして、意見等をよろしいですか。  
(委員から了承の声あり)  
それでは、お願いします。(担当課職員入室)
- 会長代理 公契約に関する条例について、その後の動き、状況の説明をお願いします。
- 担当室長 その後の動きとしては、昨年条例提案を見送った後、改めて市内の事業所団体、来月に労働者の一つの団体に、労使のご意見をうかがう動きを進めている。
- 会長代理 何か本件について質問があれば。  
(会長入室)
- 委員 意見募集の最初のところに、「市民福祉の増進を図ってまいります。」とあるが、条例ができれば、市民福祉が増進するのか、条例と市民福祉は関係ないと思うが、これについてどう考えているのか。
- 担当室長 今回の条例については理念型ということで、具体的に労働者の労働条件等は明記していないが、条例を作ることで、条例には書かれていない施策の中で、労働者福祉についても取り組んでいきたいという理念の下で表記した。
- 委員 確かに公契約の条例を作り、適正に執行すると無駄遣いがなくなるので、税金を払っている者からしたら公共の福祉になるということにつながってきますので、これ常套句です。
- 委員 表現が固い、「透明性や公平性が図られる」など直接的な表現の方が良い。もっと考えてほしい。何を根拠に福祉と言っているのか。
- 会長 条例本文第1条にもあり、決まり文句でもある。
- 委員 「透明性・公平性」などの言葉を使う方が良い。
- 委員 これだけの意見を今後どうするのか。
- 担当室長 先ほど申したとおり、事業主・労働者からそれぞれご意見聞いているが、その意見の中でも「労使双方が集まった場面を作ってほしい」という意見もあるので、少し検討を進めているところです。
- 委員 意見提出用紙が最後のページに付いているが、何か意図がある

のか。

○担当室長

特に意図はない。

○会長

今後の形式についても考えるべき。末尾についているのは珍しいが、審議会としては「意見募集について」の説明の後についているのが望ましい。公契約条例の位置づけが見えにくい。

○委員

市民の意見を聞いただけなので、それを評価するのは私にはできないと思った。行政の意見がはっきり書かれていたら、評価できると思った。

○委員

条例を作り直すのであれば評価をする必要はないのでは。

○会長

次年度以降になるのであれば、評価を先送りにはどうか。

○委員

意見を出された市民に対してはどうか。

○会長

今回評価をすることはできないという考えが一致しているので、先送りとする。意見に対してのその後のフォローも含めて、次年度以降に再度評価をする。今回はペンディングです。

○会長

**No.9**「宝塚市水道事業経営戦略（案）、宝塚市下水道事業経営戦略（案）」について意見を頂戴する。

○委員

前回のビジョン 2025 を踏まえて作成していることがわかる。一覧表の中で、どんな評価をしたかという表の9番のところを見てもらうと、19番目に資料の公表日数が30日以上というところが、消されているがこれはどうしてか。

○事務局

これは間違いである。消しているのではなく○となる。

○委員

概要版と本編がどれだけ違うのか見ていたが、あまり変わっていない。市民が読んでもらいやすい内容だったのではないか。

○委員

資料が膨大で整理はしているが、市民の立場からいうと水質の安全対策が十分に行われているということで、見る限りはいいのかなと思う。

○委員

P6の料金体系のところの記載が説明不足だと思う。市の人口が減るのは決まっているし、水道料金が値上がりするのは見えている。安定した経営をするということは、毎年値上げすることを、さりげなく言うておられる。

○委員

よく作りこまれているが、市民からの意見があまりにも少なく、関心が持たれていないことが残念である。C評価です。

○委員

評価「A」。見やすさとしては工夫されており、見やすい。専門的な用語が多い。例えば「更新」。建物の更新、水道管の更新という用語の説明が簡単でも記載があればわかりやすい。川とか水源地の地図がもっとわかりやすい形であつてもよいのではないか。

- 委員 評価「C」。開いたときに意見を述べようとは思えない。内容的に見ても、「戦略と計画」とセットとなっており、「国との関係」の整合性が語られていない。戦略との位置づけ、計画との関係がわかるようにしてもらいたい。
- 会長 水道ビジョンの2025の下に経営戦略があると思うが、それをわかりやすく書いてほしい。難しい言葉が多い。もう少しわかりやすく説明はできるはず。
- 委員 評価は点数で見ると「B」となるが。「B」でよろしいですか。
- 会長 全員一致で「B」
- 委員 評価「B」で。反応が少ないのは、「わかりにくい」から反応が少ないという要素だけではない。単に努力不足である。水道についてのファンを作れば意見はもっと出てくる。
- 委員 続いてNo.10「エイジフレンドリーシティ宝塚行動計画（案）について」意見を頂戴する。
- 委員 非常に理解しやすい。計画の中にもチェックリストがあり、いつまでにどうしなければならないということがよくわかる。パブリック・コメントの意見に対して、市の考え方を明確に述べている。
- 委員 非常に読みやすくまとめられている。そつない感じに思える。評価は「B」。内容的には、どこからも意見が出ないような無難な作り方をしている。
- 委員 いろんな分野が色分けしているが、どれも横に手を携えていかなければならない。その分だけ市民の負担が広がってきている。きれいにできていてよいと思うが、行政がどこまで市民に浸透させられるかという問題が残ってくる。評価としては「B」です。
- 委員 評価「B」。弱者への配慮という観点から行くと、視覚障害者や外国人への配慮がなかったことが残念だった。
- 委員 評価「B」。概要・本編・資料と3段階に分けて、内容も工夫されてよりわかりやすい。P12 宝塚市における超高齢社会の課題の内容をもっと全面的にわかりやすい形でも出して良いのではないかと思った。
- 委員 概要版は非常によくまとまっている。意見が少ない。そこそこに従前の説明等が行われていたことと、募集要項の中で審議会関係が入っていた。行動計画策定委員会とある。意見募集の段階でその委員名簿、会議内容が公に出されていないのは問題である。事前にこの計画が作られた段階で、具体的にどういう過程で作ら

れたかが、結果公表には付いているが、募集の際に付いていないのは問題である。事前に誰が意見に参画して作っているかがわかれば良いと思う。問題は若干あるが相対評価で「A」。

○会長

評価は前例でいくと「B」になるが、「B+」とする。

No.3についても「B+」に変更とする。

続いて No.11「宝塚市空家対策計画」(案)について意見を頂戴する。

○委員

空家対策の管理と対策で計画の中で、章・節など表示の仕方も工夫されており、図面・写真も入れられており、わかりやすい。特に図について、特定空家等の措置フローは、措置ということをこんなところから検討しましたというところまでわかるので、これが一番良いと思った。

○委員

市民からの意見に対して丁寧に答え、考え、見直し結果を付けており、読みやすいし、良いと思う。

○委員

対策的には評価は良いと思うが、現実それが市民の協力のもとにうまく符合できるかなという課題がある。評価としては「B」。

○委員

中々よく書けていたので、良いと思った。

○委員

他の委員の意見と同様にわかりやすい。量的にもコンパクトにまとめられており、良い。「C」評価であるが、「B」に近い「C」というイメージをもっている。

○委員

評価「A」。フォントが工夫されており、表・グラフも適宜挿入されており良い。課題としては、町によっては近隣との交流がないところもあるので、空家自体に関心がない人もいる。空家が放置されていることは、防犯・景観の問題も出てくるので、行政処分に至った事例を案内しても良かったのではないかと思います。

○委員

評価「B」だが、相対で「A」としても良いのでは。結果公表の方では委員会・庁内関係のことが記載され、内容も付いているが、なぜ意見募集の段階で付けられなかったのか気になった。また、意見募集の宝塚市空家等対策計画(案)のポイントについて、第6条という条文を使わずに、こういう内容だというのがあれば、評価「A」としていた。募集要項で条文が出てくるのは問題。資料として条文が添付されているが読みにくく、それで意見を述べる意欲がそがれる。結果公表については整理されており、修正版・その資料も添付されているので良い。

○委員

「空家問題を考えてみませんか」という他人事のような表記は良くはない気がする。

- 会長 一番わかりやすく書くべきところを、法律の条文を使ってしまっている。中身はわかりやすいのに入口が良くない。全体評価は「B」。
- No.12「シティプロモーション戦略（案）」について意見を頂戴する。
- 委員 アピールするのが女性と明記しており、一風変わったものである。戦略的には各章、いろいろ考えて表現している。これを特異なものということで、評価「A」とした。
- 委員 意見に対して、「今後の取組の参考とします」とあるが、その中にもさらにどのように参考とするのかという具体性が、書かれており良い。評価は「B」。
- 委員 観光、文化都市としての、見つめている方向性は評価できる。具体的なものも示されている。宝塚市の「モノ・コト・バ」などとシティプロモーションがどのように結びついていくかが見にくいと感じた。評価は「C」。
- 委員 働きたいまちという表現がなかった。なぜ抜けているのかと感じた。宝塚ファンクラブを作るというところまで書いてほしかった。もう少し踏み込みが足りないように感じたので、評価は「C」。
- 委員 市内在住の外国人の意見を聞いて、何をもって宝塚の魅力なのかというところを上げてほしかった。概要版は簡潔にまとめられているが、魅力的ではない感じがした。評価は「C」。
- 委員 読んでいてあまり印象が残らない。何を目的に本戦略があるのかがよくわからなかった。
- 委員 募集要項自体に少しピンとこなかったのかなと思う。5人意見提出はあるが、概要版に魅力を感じない。評価「B」。
- 評価シートに審議会設置なしと書いているが、審議会という名前にこだわらず、懇話会も入れてほしい。
- 会長 私は評価「C」。合計点数 3.50 で、中間値ですので、全体評価は「B」でよいか。  
(了承の声あり)
- 以上で、本日の予定案件の審議が終了した。
- 事務局 パブリック・コメント手続のマニュアルについて。  
前回の指摘事項を修正。問題なければ職員に周知する。
- 全員 問題なし。
- 会長 次回の開催日程は、平成 29 年 10 月 30 日（月）午前 10 時からとし、No.13～17 案件の評価について審議していく。